授業科目名	人と動物の関係論	単位数	2
担当教員名	黒鳥 英俊（くろとり ひでとし）	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）	動物園の勤務経験がある教員が、その経験を生かしてっ講義にあたっている。		

「学位授与の方針」との関係
多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。

授業の到達目標及びテーマ
動物園を通じて人と動物のかかわりについて理解する。

授業の概要
　動物園を通じて人と動物の関わりについて類人猿を中心に講義する。いま動物園は展示だけではなく教育や研究や野生の保全に力を入れている。さらに動物にとっても福祉が今まで以上に求められている。過去からいままでの観客や市民にとって動物園はどのようなもので、これからどこに向かっていくのか理解できる。

授業計画
第１回：動物園の概要
第２回：動物園の歴史
第３回：動物園の仕事
第４回：動物園の教育
第５回：保全・研究
第６回：飼育管理
第７回：飼育管理
第８回：動物園のエサ
第９回：動物の展示
第１０回：動物園の施設
第１１回：チンプ（チンパンジー）
第１２回：ゴリラ
第１３回：オランウータン
第１４回：類人猿の保全
第１５回：これからの動物園
定期試験

スクーリングでの学修内容
第１回～１５回すべて行う。

教科書
「恋するサル」黒鳥 英俊著　（２０２０）CCC ﾒﾃﾞｨｱﾊｳｽ 1,500 円
　(開講前に目を通しておくと概要がわかる)

参考文献
（１）「改訂版　新飼育ハンドブック」1～５（２０２０）公財・日本動物園水族館協会
（２）『動物園学入門』村田浩二・成島悦雄・原久美子編（２０１４）浅倉書店

（3）『動物園学』村田浩二・楠田哲士 監訳（２０１１）文永堂　など （高価で入手が難しいためあくまで参考程度にしてください）
学生に対する評価 レポート評価（２５％)、スクーリング評価（２５％)、科目履修試験（５０％）の割合で総合して評価する。